

## 平成29年度馬の家畜人工授精に関する講習会開催のお知らせ

独立行政法人家畜改良センター十勝牧場では、馬の家畜人工授精に関する講習会を下記のとおり開催することとしましたので、お知らせいたします。

馬の人工授精はサラブレッドやアラブでは認められていませんが、世界で唯一開催している、ばんえい競馬等に用いられる重種馬（農用馬）では実施することが認められており、能力の高い馬の生産などに大いに期待されている技術です。

馬の人工授精講習会は過去、平成26年度に実施しましたが、このたび3年ぶりに開催するものであり、全国から応募のあった、12名の受講者が学科及び実習を受講することとしています。

講習後、修業試験に合格し都道府県知事へ申請することで、家畜人工授精師免許（馬）を取得することができます。

### 記

1. 日 程：(開講式) 平成29年7月5日（水）午前8：30～9：00  
(学科) 平成29年7月5日（水）～7月12日（水）  
(実習) 平成29年7月13日（木）～7月21日（金）  
(詳しい日程は別紙をご覧ください。)
2. 場 所：家畜改良センター十勝牧場 会議室（実習は馬基地内）
3. 注意点： 取材に来られる場合は、家畜防疫の観点から事前に連絡をいただくとともに、係員の指示に従ってください。なお、講義の支障とならないよう、撮影は開講式及び実習期間のみとしますのでご了承ください。

(参考URL <http://www.nlbc.go.jp/tokachi/>)

### お問い合わせ先

独立行政法人家畜改良センター十勝牧場  
〒080-0572

北海道河東郡音更町駒場並木8番地1

電 話：0155-44-2131

FAX：0155-44-2215

連絡先：事業担当 業務第二課 久保・丸山・廣岡  
広報担当 総務課 小松

「日本の食卓 改良と技術で守ります」

～小さなタネから大きなウシまで～

平成29年度 馬の家畜人工授精に関する講習会スケジュール

※なお、都合により日程及び講師が変更になる場合があります。

	月 日(曜日)	時 間	科 目	研 修 内 容	講 師	備 考
		8:30~9:00	開 講 式			
一般	7月5日 (水曜日)	9:00~13:00	1. 畜産概論 (4時間)	1. 我が国畜産の沿革と特徴 2. 家畜の主要品種の特徴 3. 主要畜産物(乳・肉等)の生産に関する要因 4. 家畜飼養管理とアニマルウェルフェア	十勝牧場 業務第二課 課長 廣岡 俊行	
		14:00~17:00	2. 関係法規 (3時間)	1. 家畜改良増殖法 2. 家畜伝染病予防法 3. 獣医師法	十勝牧場 次長 河野 博英	
		7月6日 (木曜日)	8:00~11:00	4. 家畜の栄養 (3時間)	1. 家畜における消化及び吸収の仕組み 2. 飼料の種類及び特性 3. 飼料の配合及び給与	十勝牧場 業務第二課 課長 廣岡 俊行
		11:00~15:00	5. 家畜の飼養管理 (3時間)	1. 家畜に対する環境の影響 2. 畜舎等畜産施設の種類の特性 3. 一般的飼養管理方法		
専門		15:00~19:00	6. 繁殖生理 (4時間/13時間)	1. 繁殖機能に係るホルモン及び神経 2. 性ホルモンの種類及び作用 3. 繁殖の周期性及び性成熟	元岐阜大学 教授 宮澤 清志	
一般	7月7日 (金曜日)	8:00~16:00	一般 3. 家畜の育種 (7時間)	1. 家畜の遺伝原理 2. 家畜の主要形質の遺伝 3. 家畜の選抜方法及びその特徴 4. 家畜の交配方法及びその特徴 5. 能力検定 6. 家畜の登録制度	日本馬事協会 北海道事務所 所長 中城 一	
		7月8日 (土曜日)	16:00~20:00	6. 繁殖生理 (9時間/13時間)	4. 発情周期に伴う生殖器及び行動の変化 5. 受精及び受精卵の発育 6. 胚、胎児の発育及び妊娠による母体の変化 7. 分娩の経過及び分娩後の繁殖機能 8. 射精の機序 9. 繁殖障害の概念及び原因	
専門	7月8日 (土曜日)	8:00~14:00	7. 生殖器解剖 (5時間)	1. 生殖器の形態及び機能 2. 精子形成及び卵子形成		
		14:00~19:00	8. 種付けの理論 (妊娠と分娩) (4時間)	1. 雌生殖器内における精子及び卵子の移動 及びその機能の変化 2. 授精(交配)適期		
	7月10日 (月曜日)	8:00~12:00	9. 精子生理 (雄繁殖生理) (7時間)	1. 精液量及び精子数並びに精液の理化学的性状 2. 精子の形態及び構造 3. 精子の機能 4. 精液性状及び精子機能に関する要因	元岐阜大学 教授 宮澤 清志	
	13:00~20:00	10. 人工授精 (17時間)	1. 人工授精技術の発展の歴史 2. 人工授精の意義及び得失 3. 精液の採取 4. 精液及び精子の検査 5. 保存液の特性及び精液の希釈 6. 精液の液状保存及び凍結保存 7. 精液の注入 8. 人工授精用器具等の種類及び特性 9. 消毒の原理及び方法			
	7月11日 (火曜日)	8:00~19:00				
	7月12日 (水曜日)	8:00~16:00				
実習	7月13日 (木曜日)	8:00~12:00	15. 生殖器解剖 (4時間)	生殖器の解剖	元岐阜大学 教授 宮澤 清志	
		13:00~19:00	12. 発情鑑定 (6時間)	発情の発見及び鑑定		
		19:00~20:00	13. 精液精子検査法 (8時間)	精液及び精子の検査法		
	7月14日 (金曜日)	8:00~16:00	14. 家畜の審査 (7時間)	1. 家畜の体尺測定 2. 体型審査	十勝牧場 馬係長 久保 喜広	
	16:00~19:00					
	7月15日 (土曜日)	8:00~12:00	11. 家畜の飼養管理 (4時間)	1. 家畜の取扱い及び家畜の手入れ 2. 畜舎等畜産施設の管理及び取扱い 3. 飼料給与		
	13:00~17:00					
	17:00~18:00					
	7月17日 (月曜日)	8:00~19:00	16. 人工授精 (45時間)	1. 精液の採取法	元岐阜大学 教授 宮澤 清志 十勝牧場 馬係長 久保喜広	
	7月18日 (火曜日)	8:00~19:00		2. 保存液の調整及び精液希釈法		
7月19日 (水曜日)	8:00~19:00	3. 精液の液状保存及び凍結保存法				
7月20日 (木曜日)	8:00~19:00	4. 精液の注入法				
7月21日 (金曜日)	8:00~12:00	5. 人工授精用器具等の取扱い 6. 消毒の方法 7. 人工授精関係帳簿及び証明書の記載方法				
	13:00~	修業試験				